

授業計画（シラバス）

| | | | |
|---|--|-------------|---------|
| ■科 目 | 総合臨床 1 | ■講師名 | 渡辺 節子 |
| I 部 2 学年 | 前期 1 5 コマ (1 コマ 90 分授業) | 総時間 30 時間 | 講義 2 単位 |
| ■学修概要 | | | |
| 将来像を明確にして、国家試験合格を視野に入れた具体的な学習方法、学ぶ姿勢を身につける。 自己分析や事前学習を行うことにより授業や臨地・臨床実習での習熟度が高まる。 | | | |
| ■授業目的、到達目標 | | | |
| 臨地・臨床実習を通して専門分野のグループワークを行い歯科衛生士に求められる専門知識の根本的な 発言力、聞く力を養い、理解を深めて応用可能にする。 代表的な症例の深い理解や知識を繋げることにより臨地・臨床実習だけでなく国家試験対策にも役立て られる。 | | | |
| ■授業方法 | | | |
| 講義、演習（グループワーク、グループディスカッション、発表） | | | |
| ■教科書（書籍名・出版社） | | | |
| 歯科衛生士書き込み式学習ノート①～④ / 医歯薬出版 ①専門基礎科目編 ②社会歯科系科目編 ③臨床科目編〈上〉 ④臨床科目編〈下〉 | | | |
| ■成績評価・講義上の注意 | | | |
| 定期試験、出欠席、授業態度、課題の他、以下の項目による総合的な評価 グループワーク・グループディスカッション：グループとしての行動の内容、協力度、達成度 発表：発表の態度、技術、発声、参加することへの積極性 課題：提出期限、内容 | | | |
| ■実務経験 | | | |
| 歯科衛生士として長きに亘り、臨床及び教育現場で歯科衛生士や学生教育に携わる。その実績を反映し 臨床経験に基づいた幅広い視点から知識、技術を学ぶ機会を提供したいと考えている。 | | | |
| ■授業計画（講義の流れ） | | | |
| 1 | 歯科衛生士書き込み学習ノート①専門基礎科目編の復習 | | |
| 2 | 歯科衛生士書き込み学習ノート②社会歯科系科目編の復習 | | |
| 3 | 歯科衛生士書き込み学習ノート③臨床科目編〈上〉 | | |
| 4 | 歯科衛生士書き込み学習ノート③臨床科目編〈上〉 | | |
| 5 | 歯科衛生士書き込み学習ノート③臨床科目編〈上〉 | | |
| 6 | 歯科衛生士書き込み学習ノート④臨床科目編〈下〉 | | |
| 7 | 歯科衛生士書き込み学習ノート④臨床科目編〈下〉 | | |
| 8 | 歯科衛生士書き込み学習ノート④臨床科目編〈下〉 | | |
| 9 | 中間試験（国家試験に準ずる練習問題を実施し理解力を確認） | | |
| 10 | 自己分析と具体的な学習の進め方 | | |
| 11 | 症例検討：保存修復症例、補綴症例、小児歯科症例、矯正症例、口腔外科症例、歯周・歯周外科療 計 6 症例に関して課題考察 | | |
| 12 | 症例発表：症例診断名・治療目的・治療手順・使用器具・問題点 | | |

授業計画（シラバス）

| | |
|----|--------------------------|
| 13 | 発表症例に関する国家試験過去問題の理解力を確認 |
| 14 | 国家試験過去問題の効果的な活用方法 |
| 15 | 定期試験（国家試験過去問題を実施し理解力を確認） |